

広報

はちおうじの教育

1.15

2021年(令和3年)
No.105

～あふれる元気 かがやく心 仲間とともに はばたけ未来へ～

この日のために



芸能祭で「もう一度飛べたら」を演じる館中学校演劇部の生徒たち。この日のために、今まで積み重ねてきた練習の成果を発揮して、迫真の演技を披露していました。



八王子市の電話相談

保護者の皆さん

総合教育相談室 ☎664・6949

小・中学生の皆さん

こども電話相談 ☎664・3665

子どものいじめに関すること

子どものいじめ相談電話 ☎620・7499

受付時間 月～金曜日(祝・休日を除く)午前8時30分～午後5時

24時間東京都いじめ相談ホットライン

☎ 0120・53・8288

24時間子供SOSダイヤル

☎ 0120・0・78310

なやみ言おう

メロディーが聞こえたら
子どもたちの見守りにご協力を

子どもたちの下校を見守るきっかけづくりとして、松任谷由美さんの「守ってあげたい」を午後2時に防災行政無線で放送しています。

保護者の皆様へ

今後も、1人1台の学習用コンピュータ導入に向けて、学校を通じて、さまざまな情報を発信していきます。本市のG I G Aスクール構想の実現により、子どもたちの教育がさらに充実していくように、以下の4点についてご理解・ご協力をお願いいたします。

お願い1

インターネット接続環境のご用意を

コンピュータを持ち帰ってご家庭でも活用する場合には、インターネットへの接続が必要不可欠です。どのような機器があれば接続できるかについては、今後学校を通じてお知らせしますので、インターネットへの接続環境が整っていないご家庭は、お知らせを読んだうえで、ご用意をお願いします。

なお、既にご家庭にWi-Fi機器などの無線LANがある場合は、そのまま使用することができます。



▲コンピュータは、家庭でも活用

お願い2

コンピュータを大切に

学校でもコンピュータを大切に扱うように指導しますが、ご家庭でも使用のようすを確認し、必要に応じてお声がけをお願いします。

お願い3

健康や安全に気を付けて

ご家庭で使用する際のルールをお伝えします。健康や安全に気を付けるように、お子さんと一緒に内容をご確認ください。

お願い4

ご家庭でも充電を

コンピュータを持ち帰って使用した後は、次に学校で使用するための、ご家庭でも充電にご協力ください。

はちおうじっ子の 学びを支える未来の教育

いまだに収束への道筋が見えない新型コロナウイルス感染症。学校の臨時休業の際には、自宅で学ぶことのできるICT（情報通信技術）の重要性を多くの人が感じました。そのような中、文部科学省の推進するG I G A（ギガ）スクール構想は、子どもたち1人1台の学習用コンピュータと学校への高速無線LANなどを整備し、非常時の学習活動にも活用できるものです。本市では、今年度内に整備を完了し、未来を担う子どもたちのため、さまざまな教育活動に活用していきます。今号では、八王子市版G I G Aスクール構想を紹介します。

☎指導課(☎620・7412、☎627・8811)

学習活動の一層の充実を

市教育委員会では、八王子市版G I G Aスクール構想の主題を「はちおうじっ子の学びを支える未来の教育」として「自分に合った学び、仲間とともに深める学び、創造性を発揮できる学びの実現～誰一人取り残さない、ICTを活用した教育の充実～」をめざす教育の姿としました。

ICT環境の整備として、1人1台の学習用コンピュータや学校への高速無線LANの整備に加え、充電保管庫やプロジェクター、書画カメラを更新します。今後は、これまでの教育実践に無限の可能性のあるICTを取り入れることで、学習活動の一層の充実や主体的・対話的で深い学びの視点から授業の改善を図ります。



▲ICTを活用した新しい授業に

八王子市立中学校

芸能祭

～市長杯三年生交流大会～

11月7日に八王子市立中学校芸能祭が開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各種コンクールなどが中止となる中、出場した3年生にとっては集大成となった今回の芸能祭。子どもたちは精いっぱい力を出し、思い出に残る一日となりました。

☎指導課(☎620・7412、☎627・8811)



変わる教育現場

CHANGE 1

授業支援として



今後の授業では、コンピュータ上で子どもたちの意見を集約したり、発表したりすることなどができる授業支援ツールを活用します。自分の考えを深めることや、深めた考えを友だちと伝え合うことができるようになります。

CHANGE 2

学校と家庭の連携



コンピュータは家庭に持ち帰ることを想定しています。子どもたちが家庭でドリル型学習コンテンツを活用することや、保護者が家庭へのお知らせをコンピュータでも見られるようにするなど、学校と家庭の連携が充実していきます。

CHANGE 3

学びを止めない



新型コロナウイルス感染症の感染拡大などによる学校の臨時休業の際には、コンピュータを活用して、Web会議ツールやドリル型学習コンテンツで「学びを止めない」取組を実施することができます。

CHANGE 4

教育相談に活用



不登校傾向などのある子どもを支援するために、コンピュータを利用して、学校から子どもの家庭でのドリル型学習コンテンツの取組状況を把握するだけでなく、画面を通して面談を行うなど、教育相談への活用も可能となります。

教育委員会定例会について

令和2年10月から12月まで定例会を5回開催しました。主な内容をお知らせします。

【議案】

○パーソナル・コンピュータ等の取得における議案の調製依頼に関する事務処理の報告について

【報告事項】

○八王子市版GIGAスクール構想について

○令和元年度(2019年度)八王子市生涯学習関連事業評価の結果について

○南大沢図書館パークライブラリーの実施結果について

定例会は、公開しています。傍聴を希望される方は、当日、直接会場にお越しください。

問 教育総務課(☎620・7323、
FAX 627・8811)

今後の定例会開催日程(予定)

日時	会場
1月28日(木) 午前9時30分～	市役所本庁舎
2月9日(火) 午後7時～	
2月22日(月) 午前9時30分～	

定例会の内容や開催日程など、詳しくは市のホームページをご覧ください。

八王子城跡御主殿の発掘調査

市教育委員会では、令和2年11月に八王子城跡御主殿西側で発掘調査を実施しました。今回の調査では建物の礎石や炉の跡が見つかり、この礎石の一部からは火災の熱によつて残された柱の跡が確認されました。また、磁器、甕の破片、火縄銃の弾に使用する鉄弾や銭貨なども出土しました。これらの発見は八王子城の御主殿の全容を明らかにする上で大変貴重な資料となります。

問 文化財課(☎620・7265、
FAX 626・8554)

発掘されたもの



▲銭貨



▲鉄弾



▲礎石や炉の跡

食べて応援!!

学校給食で和牛を提供

新型コロナウイルス感染症の影響により和牛の需要が減少していることを受け、本市の姉妹都市である北海道苫小牧市のオリジナルブランド牛「北雪牛」とその近隣の和牛を1月から2月にかけて2回、小・中・義務教育学校の給食で提供します。また、食育の一環として掲示物などで子どもたちに紹介します。北雪牛は、雪の結晶のような美しい脂が入った牛肉という意味で名付けられ、口どけのよさが特徴です。

コロナ禍の中、姉妹都市を応援するとともに、北海道の恵みをたくさん受けたおいしい和牛を子どもたちに届けます。

問 保健給食課(☎620・7331、FAX627・8813)



▲「北雪牛」を育てている広大な牧場



▲子どもたちに掲示物で紹介



▲北海道の恵みをたくさん受けた和牛「北雪牛」



「はちおうじの学校給食・食育」の動画を公開しています。左の二次元コードからご利用できます。

